

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立八郷西小学校

校長 伊左治 智香子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 学校づくりビジョンに掲げた教育目標「ともにみがき合い かがやく」を実現するために、「①よく考え、自ら学ぶ子」「②きまりを守り、仲間と協力する子」「③健康で明るく、がんばりぬく子」の育成に向けて、地域・家庭・学校が互いに連携を密にし、協働して取り組みます。
- (2) これまでも学校の様々な教育活動に支援をいただいている保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- (3) 学校運営協議会において、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した「開かれた学校づくり」を推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 学習支援活動の実践事例****① 陶芸作品制作（学習支援活動）**

校内図工科作品展に向け八郷西陶芸クラブの方々による、陶芸教室（出前授業）を全学年で実施しました。校内図工科作品展は、11月の土曜授業を授業参観とし、同日開催して、保護者及び地域の方に子どもたちの陶芸作品を鑑賞していただきました。

子どもたちは、卒業するまでに6つの陶芸作品をつくることができます。陶芸クラブの方々は「この取り組みを始めてもう何年もたち、この校区の子どものいるどの家庭にも、子どもが制作したシーサーやランプシェード等の陶芸作品があると思うと嬉しい」という声をいただいています。



4年生:シーサー

5年生:器



お話の会の様子

② 読み聞かせ・お話の会（学習支援活動）

「読書活動の推進」を学校づくりビジョンに掲げ、図書ボランティアの方々に、朝の読み聞かせや「お話の会」を実施したりしていただいています。

朝の読み聞かせは、「図書館まつり」の時期に合わせて、各クラスで図書ボランティアと教師による読み聞かせをしています。どの学年でも、



誰にどんな本を読んでもらえるのか、子どもたちはワクワクして待っている様子でした。

更に、毎年恒例の「お話の会」（3月）では、ランチルームに舞台をセットし、学年別にそれぞれ絵本や大型紙芝居の読み聞かせをしていただきました。

むかし遊びクラブ



③クラブ活動（学習支援活動）

地域の方々の専門的な知識や技能を生かして、クラブ活動の支援を行っていただき、子どもたちの興味関心を喚起することにつながっています。

- ・八郷西陶芸クラブの方々による陶芸のクラブ支援
- ・あかつき寿会の方々による昔遊びのクラブ支援
- ・久保田さんをはじめ地域の方々によるパソコンクラブ支援

（2）地域連携活動の実践事例

①2年生 生活科「校区たんけん」の取り組み

2年生が校区内の公園巡りを登校の見守りをしていただいているあかつき交通安全隊の方々に引率いただきながら行いました。各公園で、あかつき交通安全隊の方々から昔から伝わる遊びを教えていただいたり、子どもたちが普段している遊びを一緒にしていただいたりして、楽しく交流ができました。

2年生：校区たんけん



②4年生：防災マップづくり

八郷地区防災連絡協議会や4年生の保護者の方々に協力いただき、4年生の子どもたちが、防災に関する施設・設備、危険箇所等を探検する活動を行いました。この活動を通して身の回りにある危険について気づき、地域の方々から大切にされていると感じたり、防災について身近に考えることができました。

4年生：防災マップづくり



（3）保護・地域住民の意見を学校運営や教育活動に反映した事例

①特色ある学校づくり

学校林は、様々な子どもたちの学びが期待できる本校の大切な教育資源です。昨年度は、その学校林や一輪車コースが蜂被害により閉鎖されていました。そこで、グリーンボランティア森林づくり三重の方々の協力を得て、学校林内の整備や蜂から身を守る方法の子どもたちへの指導を行い、子どもたちの使用を再開しました。全学年が様々な教科で活用し、三年生では年間を通じて、総合的な学習の時間に活用しました。

②異学年交流・学校間交流・異校種間交流

小規模校のデメリットとして、子どもたちのコミュニケーションの力を心配する声があります。そこで、異学年交流や近隣の学校との交流の機会を積極的に設けています。

低学年では、近隣の学校（三重北小学校）や八郷西保育園の5歳児と学校林で交流を行いました。4年生では、本校と同様に防災マップづくり活動に取り組んでいる八郷小学校の4年生とオンラインで作成した防災マップと地域の方々から学んだことを交流し、学び合いました。この様子は、防災探検活動やマップづくりでお世話になった地域



三重北小学校との交流



1年生と八郷西保育園の交流



八郷小学校とのオンライン交流

の方々にも参観していただき、ICT機器の使い方や話し方について称賛していただき、子どもたちへの自信となりました。

3 コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

上記の「教育活動の実践事例」に関わる学校評価アンケート結果は次のとおりでした。

- ・児童アンケート「地域の人に教えてもらうことは勉強になっている」肯定的評価 91%
- ・保護者アンケート「楽しく学校に通っている」肯定的評価 92%
- ・児童アンケート「本を読むことは好きですか」肯定的評価 80%
- ・児童アンケート「学校行事は楽しく参加しているか」肯定的評価 97%、
- ・児童アンケート「学校の様子を分かりやすく伝えているか」肯定的評価 95%
- ・児童アンケート「健康で安全な学校生活を送っているか」肯定的評価 94%
- ・保護者アンケート「安全・健康の意識を高めるための指導」肯定的評価 94%

今年度は、感染症予防対策を講じながら、授業参観や授業公開を積極的に行い、それらを通信やHPを活用し発信していくことによって「学校や子どもたちの様子が分かりやすい」「学校行事に楽しく参加できる」との高い肯定的評価をいただきました。そして、地域の方による学習支援や地域の方との交流は、児童にとっても、保護者にとっても安全・安心の環境づくりに繋がっていることがわかりました。また、可能な限り、地域の教育力の活用に努め、子どもたちの体験的な学びと地域の方々との交流を充実することができました。

学校保健委員会



3 今後に向けて

- ・ 学校運営協議会においては、授業参観や学校保健委員会の参観等を実施しました。そして、具体的な子どもたちの様子や学校評価アンケート結果の分析から、学校運営に貴重なご意見をいただくことができました。
- ・ 学校行事をより有意義なものになるように継続的に取り組むのはもちろん、地域とつながる場を工夫し、自分も地域の一員であって地域についてさらに学んでいく意識を育てていきます。そして、今後も特色ある学校づくりを実現し、本校の教育の柱としていきたいと考えています。